

## 令和3年度 第2回子ども・子育て会議 議事録

- 日 時 令和3年10月25日(月) 10:30~12:10
- 会 場 沼田市役所第2委員会室
- 出席委員 浅沼委員、井熊委員、小林直之委員、神尾委員、楢渕委員、見城委員  
小林昭紀委員、田代委員、田辺委員、庭野委員、根岸委員、宮内委員、  
宮田委員 13名
- 欠席委員 田部井委員、大城委員、高橋委員、田中委員、西山委員、原澤委員、  
和田委員 7名
- 事務局 矢代健康福祉部長  
(子ども課) 金子課長、綿貫子育て支援係長、高木保育係長  
(学校教育課) 角田課長  
(健康課) 齋藤課長
- 配布資料 ・事前配布資料 公立保育園の在り方に関するアンケート集計結果  
・当日配布資料 次第、将来人口の推計等資料、  
・里親リーフレット、ままここっと

### 1 開 会

司会：金子課長

### 2 あいさつ

#### ・小林会長あいさつ

この委員の任期は今日で最後、来月は新しい委員さんをお願いすることになる。

沼田市立保育園の在り方について、沼田市の子育て環境の整備につながるよう、よりよい方向へいくように重点的に審議をお願いしたい。できれば、この会議の考え方を市長へ報告する、提言書をまとめていきたいが、意見がまとまらなければ会議の意見をまとめて途中経過を報告し、この任期の2年の区切りをつけていきたい。

#### ・健康福祉部長あいさつ

公立保育園アンケートでは、お忙しいところご回答いただき感謝する。本日は公立保育園の在り方についてご協議いただくということでもよろしくお願ひしたい。

### 3 議事

(1) 沼田市立保育園の在り方について 進行：小林昭紀委員

保育係長 ※資料により説明

会 長 説明の中で何かご質問があればお願いしたい。

委 員 確かに人口推計をみるとよくわかるけれど、ここ2回ばかりの会議で決められるのか心配である。どうやったら子どもの教育をいかによくすることができるか問題である。そこを議論することが重要ではないか。

会 長 行政改革推進本部ですでに検討されている事項である。行政が先走った形で結論ありきでは困るので、この会議の中で、民間保育園と公立保育園の役割についても慎重に考える必要がある。子育てに優しい環境づくりのために2年間の役割をしめていきたい。

委 員 行政改革推進本部の話をしっかりわれわれに情報もしっかり教えてもらい、その上でやっていくことが必要だろう。お金がない、人口が減るということではなく、子育ては大事なんだという観点から議論がなされるべきである。

委 員 保育園をどうするか、という根底にはどんな子どもを沼田市が育てていくかということになる。保育園は預かっていればいいということだけではなく、そこに教育ということがでてくる。幼・保・小接続教育ということで、例えば南保育園をそういう研究所みたいなところにして幼児教育センターという形の場所にできたらよい。それから、障害児も増えている。そこはプロがやる、そういったところに公立小学校の特別支援の先生に来てもらって、教育と保育をつなぐような教育をしていただくような機能、それから休日保育、その施設を使って各園のコードシェア、責任をもちあって休日に人を出す、そこに市がお金を出すような施設にしてもいいのかなと思っている。

委 員 民間にしかできないこと、公立にしかできないことがある。保育園はどんな子どもも平等に預からなければいけない。にいほるこども園は唯一、公立保育園と公立幼稚園が一緒になったところ。避難所にもなっている。災害の時も調理室もあり、すぐそこで生活することができる。沼田市の財

政のこともあると思うが、どんな形でも公立保育園を残してほしいと思う。

**委員** 公立保育園で何を担うのかということの検討が必要。定員数に達していなくても保育士が必要ということになると何年か後にまた同じ時代になって保育士の人件費を払えないから民営化しようということになる。どこもそうだが、選択と集中をしていかないとやっていけない、民間と公立でどうやって連携してやっていくかを決めてやっていかないとだめなのかと思う。

**委員** 民営化は難しいのか、廃園はどういうことなのか部長に聞きたい。

**部長** 検討委員会の中でどういう方向性で検討しているのかということで、アンケートの4つの事案について案として検討している。公立で運営していくのが難しいとなると廃園するのか、それとも施設を使って運営してもらえるのか、ということで民営化ということになるが運営してもらえる事業所がなければできないので民営化も選択肢としてはあるが、なかなか厳しいという考えである。

**委員** この話題は論点を尽くしたと思われるので、いつまでどういう段取りでやるのか、はっきり道すじを示してほしい。

**会長** 市の検討委員会としてはどんな流れになっているのか。

**事務局** 検討委員会では、一度、ぬまた南保育園の民営化計画の休止を決定、ぬまた東保育園の廃園を決定している。今後、ぬまた南保育園、川田保育園を含めて検討していく。今年度末、2月頃を目処に庁内の検討委員会で結論を出すつもりで、今回みなさんのご意見を伺っている。その後行政改革推進本部へ報告することになっている。

**委員** なぜ、行政改革推進本部の中でぬまた南保育園のような人数の多い保育園を民営化ということになったのか教えてほしい。

**事務局** 平成28年度に検討した時の結論では、ぬまた東保育園は廃園、まだ新しいぬまた南保育園は民営化でどうだろう、他は地域性もあり、今後子どもの減少をみながら令和5年度に向けて検討した時に、なかなか南保育園の

民営化について条件整備が整わなかった。南保育園の定員以上に沼田市内の施設に余裕が出てきてしまうので、どういう方法がよいのかということで、みなさんにお話をさせてもらった。

**委員** ロードマップを決めて整理した方が良い。それぞれの思いで話をしているので方向性がでないのではないだろうか。

**会長** この会議ででた内容を事務局の方で検討委員会にあげてほしい。

**委員** 行政改革推進本部には、こういう意見がでましたという話とアンケートの結果を報告するのか。

**会長** まとめた意見は難しいので、今日までの議論を報告してもらおう。

**委員** 廃園になったら、そこに通っていた子どもたちはどうになってしまうのか。そこに行政から支援してもらえるのか。市がどう支援できるのか明確にってもらえると賛同しやすい。民と公が手をとりあってやっているとよい。

**委員** なんにもないまま議論するのではなく、今、公立に通っている保護者の方に公立ならではのアンケートをとってみる等。

**委員** 沼田市の基本的な考え方を中間報告でもいいので教えてほしい。何もないうところで討論するのは、このくり返しになるのでよくない。

**委員** 保育園の在り方を議論するのも大事だが、話は変わるが、佐野市ではまちづくりの中心に子育てを柱におこうということで、子ども・子育て国際フォーラムが昨日、今日でやっている。そのために企業も何ができるかをやっている。これは紹介であるが、次回以降はこういう話もしていきたい。

**会長** 市の検討委員会から出たものを次の会議の中に反映してもらおうことでよいか。それでは、本日の議事はこれで終わりとする。